

【専門課程 ディプロマ・ポリシー（卒業時の方針）】

1. 人間を身体的・精神的・社会的・文化的な存在として尊重することができる。
2. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーションができる。
3. 看護師として責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく行動ができる。
4. 対象者の暮らしを創造的に捉え、健康状態に応じた看護を実践できる。
5. 看護の役割を理解し、多様な人々と連携・協働し、チームの一員として行動できる。
6. 看護の質の向上に努める専門職業人として学び続けることができる。

【専門課程 カリキュラム・ポリシー】

唐津看護専門学校は、唐津東松浦地区にある保健医療福祉施設や地域において、この地区の人たちの健康の担い手として活躍できる看護師を育成するために、次のようなカリキュラムを編成し、実施する。

1. 地域に貢献する看護師として、その人々を中心とした健康を支える看護実践能力を身につけるための、知識・技術・態度が修得できるよう、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」を講義・演習・実習で編成し、看護の理解が深まるよう領域を横断した科目も配置した。
2. 1年から3年次まで続く、講義・演習では、能動的で自律的な学習態度を獲得するために、人としての守るべき規範や教養を学び、学習スキルを体得し、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力、自己管理能力、自律性などを身につける。
3. 人間の生活者としての暮らしを取り巻く社会面および身体的・精神的な側面を統合して理解するために必要な知識を学ぶ。対象がその人らしく生きることを支えるために、看護学の基礎となる科目を1～2年次に配置し、対象者を全人的にアセスメントする能力、暮らしを支える自助・互助・共助・公助の態度を身につける。
4. 看護の対象のニーズに合わせた看護を安全・安楽に行うために、臨床判断能力及び健康段階・発達段階に応じた専門知識や技術を学ぶ。同時に、看護を提供する多様な場について学び、場の複雑性を加味しながら対象者の特性を認識した看護実践を学ぶ科目を1年次から配置し、対象者のニーズに応じた看護実践能力を身につける。
5. 時代に応じた保健・医療・福祉の提供を考えながら、看護の質の向上を目指せるようになるために、自主的に学び自己研鑽する態度を身につける。また専門職連携教育を活用し、多職種と協働して対象を支える能力及びICTが活用できる基礎的能力を身につける。
6. 知識や技術の統合を図り、看護の受け手との関係形成やチーム医療において必要な

対人関係能力や倫理観を養うとともに、看護専門職として自己のあり方を省察する能力を身につける臨地実習は1年から3年次に配置する。

7. 学修成果の評価は、授業内容のねらいや授業目標に合わせて筆記・技術試験・レポート・パフォーマンス評価などで適正な評価を行う。そして教育方法の改善に反映する。パフォーマンス評価においては、ルーブリックを用いて到達度を可視化する。また専門知識・技術だけでなく専門職業人としての社会人基礎力も高められるような総合的な評価も行う。

【専門課程 アドミッション・ポリシー】

当校では、地域に根差した看護師を養成する専門学校として、次のような資質を身につけた学生を求めます。

1. 保健・医療・福祉のチームとして、地域で働きたいという明確な意思を持つ人
2. 生命の尊さがわかり、人との関わりを大切にできる人
3. その人らしさを支えるための聴く力と話す力を持っている人
4. 准看護師としての倫理観を身につけている人
5. 日々の生活の中で自律心をもって主体的に学び行動できる人
6. 諸外国の文化や社会情勢に関心がある人
7. 自分の生活を整え、心身共に健康管理ができる人